

研究テーマ:「アメリカの大学図書館における学生アシスタントの実態調査」

研修期間: 平成25年10月2日～10月12日

目的地: アメリカ合衆国ワシントン州シアトル市とカリフォルニア州ロサンゼルス市

主要訪問先: ワシントン大学図書館の Suzzallo & Allen Library 及び Odegaard Undergraduate Library、ノース・シアトル・コミュニティ・カレッジ図書館、タコマ・コミュニティ・カレッジ図書館、シアトル公共図書館、オクシデンタル大学図書館

1. 研修目的

現在、「アメリカの大学図書館における学生アシスタントについて」というテーマで研究している。今年の夏に実施した質問紙調査では、アメリカの大学図書館における学生アシスタントの実態を量的に明らかにした。今回の訪問調査は、この質問紙調査の結果を質的に補完することが目的である。訪問調査では、各図書館の図書館職員と学生アシスタントにインタビューを行うとともに資料収集を行った。

2. 主要訪問先

2.1 ワシントン大学図書館の Suzzallo & Allen 図書館と Odegaard Undergraduate 図書館

ワシントン大学は、1861 年に創立された州立大学で、シアトルキャンパスには 14 館、タコマ(Tocoma)、ボッセル (Bothell) キャンパスにもそれぞれ一つの図書館があり、合計で 16 館ある。2010 年度の ARL 統計 (Association of Research Libraries Statistics) によると、専門スタッフ 179 名 (FTE)、非専門スタッフ 163 名 (FTE)、学生アシスタント 94 名 (FTE、人数は 300 名程度) が雇用されている。今年は 325 名の学生アシスタントが雇用されている。



図 1 Suzzallo Library



図 2 Allen Library



図 3 Odegaard Undergraduate Library

1926 年に完成した Suzzallo 図書館に接続する形で、1990 年、Allen 図書館が開館された。主として、レファレンス、メディアセンター、貸出部門に学生アシスタントが配置されている。図 4、5 は Suzzallo 図書館のレファレンスデスクとメディアセンターの貸出デスクである。図 6 は Allen 図書館の南館にあるヘルプデスクで、普段は学生アシスタントの隣に図書館職員も配置されている。



図 4 レファレンスデスク



図5 メディアセンター



図6 ヘルプデスク



図7 エントリーデスク

Odegarrd Undergraduate 図書館は 24 時間開館されている。主にアクセスサービス部門のエントリーデスク (図 7)、情報デスク、ライティングセンターデスクに学生アシスタントが配置されている。今回 Suzzallo & Allen 図書館でレファレンス・リサーチサービス部門 (Reference & Research Services) の担当者 Adam Hall 氏 (図 8) の協力で、職員 4 名と学生アシスタント 3 名にインタビュー調査を行うことができた。また、学生アシスタントの雇用に関する様々な資料を入手することができた。



図8 Adam Hall 氏 (右) と

2.2 ノース・シアトル・コミュニティ・カレッジ図書館 (North Seattle Community College library)

ノース・シアトル・コミュニティ・カレッジはワシントン州のシアトルにある 2 年制の公立コミュニティ・カレッジであり、1535 人の学生が在籍している。唯一の図書館には、専門スタッフ 3 名 (FTE)、非専門スタッフ 4 名 (FTE)、学生アシスタント 12 名が雇用されている (2011 年度)。また、学生アシスタント 12 名のうち 2 名はレファレンスデスクアシスタントとしてレファレンスサービスを提供する学外の図書館学修士であった。図 9 はレファレンスデスクアシスタントである。今回は図書館の職員と学生アシスタントそれぞれ 1 名にインタビュー調査を行い、レファレンスデスクアシスタントの雇用に関するガイドラインを入手した。



図9 レファレンスデスクアシスタント (左は MLIS 学生)

2.3 タコマ・コミュニティ・カレッジ図書館 (Tacoma Community College library)

タコマ・コミュニティ・カレッジはワシントン州のシアトルに次ぐ第二の都市にある 2 年制の公立コミュニティ・カレッジであり、10000 人の学生が在籍している。唯一の図書館には、専門スタッフ 5.8 名 (FTE)、非専門スタッフ 5.5 名 (FTE)、学生アシスタント 6 名を雇用されている (2011 年度)。今回は図書館の職員 3 名と学生アシスタント 1 名にインタビュー調査を行い、学生アシスタントの雇用に関するマニュアルなどを入手した。

2.4 シアトル公共図書館 (Seattle Public Library)

シアトル公共図書館は、中央館と 26 の分館があるが、今回訪問したのはシアトルの中心地に位置す

る中央館である。中央館は2004年5月23日に開館した。ガラス張りの斬新奇抜な新建築であり、図書館と建築アートの融合であった「魅せる図書館」と言われた。図10, 11, 12は図書館内外の風景である。館内には多数の机と椅子がある。そして、400台のパソコンがあるほか、無線LANにも対応している。328人スタッフ（司書、用務員なども含む）が配置し、無償と有償の学生アシスタントも雇用されている。



図10 シアトル公共図書館



図11 図書館内部（10階）



図12 窓からの風景（7階）

2.5 オクシデンタル大学図書館（Occidental College library）

オクシデンタル大学は、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス市に位置する四年制私立大学である。2134人の学生が在籍している。唯一の図書館には、旧館と新館があり、アカデミック・コモンズと呼ばれる。月曜日から木曜日まで24時間開館しているが、ほかの日は夜10時まで開いている。職員の人数については、専門スタッフ11.2名（FTE）、非専門スタッフ6.8名（FTE）、学生アシスタント90名を雇用されている（2011年度）。

今回オクシデンタル大学図書館において、職員3名、学生アシスタント5名にインタビュー調査を行い、学生アシスタントの雇用とトレーニングに関する様々なガイドラインやハンドブックを入手することができた。



図13 オクシデンタル大学図書館（階段の左は旧館、右は新館）

3. 研修をして感じたことと謝辞

修士入学後、現在まで約1年半かけて、この研究を進めています。文献調査と質問紙調査を行いました。やはり現地調査を行わないと、わからないことが多くあります。例えば、訪問した図書館では学生アシスタントがどのように活用されているかを詳しく聞くことができました。今回の研修で初めてアメリカへ行き、大学図書館職員11人、学生アシスタント10人にインタビュー調査を行うことができたのは、多くの大学図書館職員や学生アシスタントが積極的に協力してくださったことと、呑海沙織先生の指導と励ましの結果であり、感謝の気持ちで一杯です。最後に、このような貴重な機会を与えてくださった筑波大学大学院図書館情報メディア研究科に篤く御礼申し上げます。私は筑波大学という環境に恵まれているとずっと感じています。この貴重な研修経験は、将来の研究と仕事に生かしていきたいと考えています。